

事業番号	事務事業名	地域包括ケアシステム構築促進事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01540	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者	井手 俊文
	施策名	14 高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	介護予防・日常生活支援総合事業で行うサービスが安定して提供できるよう、社会福祉協議会・外4事業所と、事業の委託契約を締結し、委託料を支払う。	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律(平成元年法律第64号)の改正法が平成26年に施行され、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援を包括的に確保する地域包括ケアシステムを構築することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 要支援認定者	→ ア 要支援認定者数	人	見込 実績	196 212	212 230	189 231	166	143
イ 事業対象者	→ イ 事業対象者数	人	見込 実績	109 114	109 104	109 102	109	139
ウ 第1号被保険者	→ ウ 第1号被保険者数	人	見込 実績	4,765 4,725	4,753 4,736	4,689 4,749	4,653	4,617

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 必要な人が過不足なく訪問型サービスを受けられるようにする	→ ア ヘルサポかがみの利用者数	人	目標 実績 達成率	35 41 117.1%	35 41 117.1%	35 41 117.1%	42	42
イ 必要な人が過不足なく通所型サービスを受けられるようにする	→ イ ガンバランドかがみの利用者数	人	目標 実績 達成率	168 156 92.9%	168 139 82.7%	181 135 74.6%	181	181
ウ 生活支援を受けながら住み慣れた地域で安心して生活する	→ ウ 生活応援隊利用者数	人	目標 実績 達成率	22 22 100.0%	22 14 63.6%	22 15 68.2%	22	22

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 契約締結	→ ア 契約締結回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ 委託料支払い	→ イ 委託料支払回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
ウ サービス内容等について検討	→ ウ 総合事業全体会議開催回数	回	目標 実績 達成率	10 1 10.0%	10 0 0.0%	10 0 0.0%	5	5

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 03	項 01	目 04	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号					
	一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	06	21	地域包括ケアシステム構築促進事業費	01540					
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	30,503	31,267	33,228	31,666	32,054	1,961	一般財源	30,463	31,267	33,072	31,666	32,054	2,609
合計	30,503	31,267	33,228	31,666	32,054	1,961	合計(A)	30,463	31,267	33,072	31,666	32,054	2,609
財源名称	従事正職員人数							5	5	5	5	5	
	延べ業務事務時間							16	16	16	16	16	
	人件費計(千円)(B)							54	56	53	54	54	-3
最終予算額		33,228 千円	予算執行率	99.5%	トータルコスト(A+B)		30,517	31,323	33,125	31,720	32,107	1,802	
主な支出事業内容(予算)	委託料(物)						32,228 千円						
	負担金(その他)						1,000 千円						
主な支出事業内容(決算)	委託料(物)						32,072 千円						
	負担金(その他)						1,000 千円						

事業番号	01540	事務事業名	地域包括ケアシステム構築促進事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地域包括ケアシステムは、今後高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図っていくことになる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
事業内容及び実施について、地域包括支援センター、社会福祉協議会と協議を重ねた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
安心して訪問や通所のサービスを利用したい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	地域包括ケアシステムを構築するための事業であり、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域包括ケアシステムは町が関与し、住民、専門職などと協力して構築していくものである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築することになることから、高齢者のみならず障害者、子どもなど生活上の困難を抱える方を対象にすることになる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	関係者が協働し、地域包括ケアシステムの深化を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	法律の規定により実施しているものであり、廃止・休止することはできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	より良い方法が行えるよう、関係者により検討して行く必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業費は社会福祉協議会がこの事業を行うために必要な経費となっており、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限の人員及び時間により行っており、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	対象は65歳以上の高齢者であり、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築することになることから、高齢者のみならず障害者、子どもなど生活上の困難を抱える方を対象にすることになる。 関係者が協働し、地域包括ケアシステムの深化を図る必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 地域包括ケアシステムの深化・充実に向けて、関係者で検討し、改善していく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								